スリーヴ(第七十九圖)

1　2 ＝ 袖刳周圍/4。

3　2 ＝ 內袖丈。

4　1 ＝ 袖刳周圍/2。

5　1 ｝＝ 1 4/3。
6　4 ｝

7　5 ＝1.5糎。

8　6 ＝0.3糎。

9　4 ＝ 3 2。且,平行。

10　9 ＝ 2 糎。

11　＝ 4 9 の中央。

12　11 ＝ 1 糎。肘。

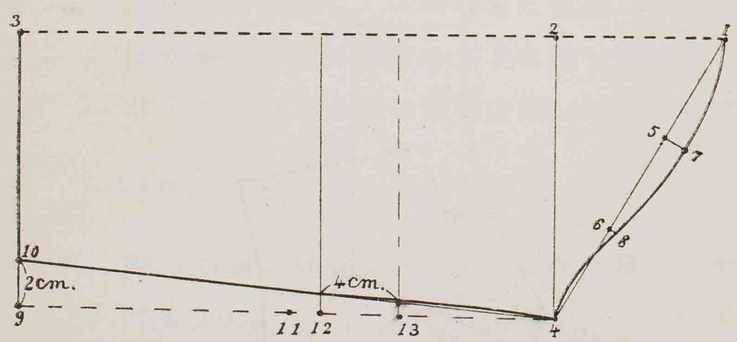
13　12 ＝ 4 糎。半袖の袖口。

半袖の長さは好みによりて變じてよし。

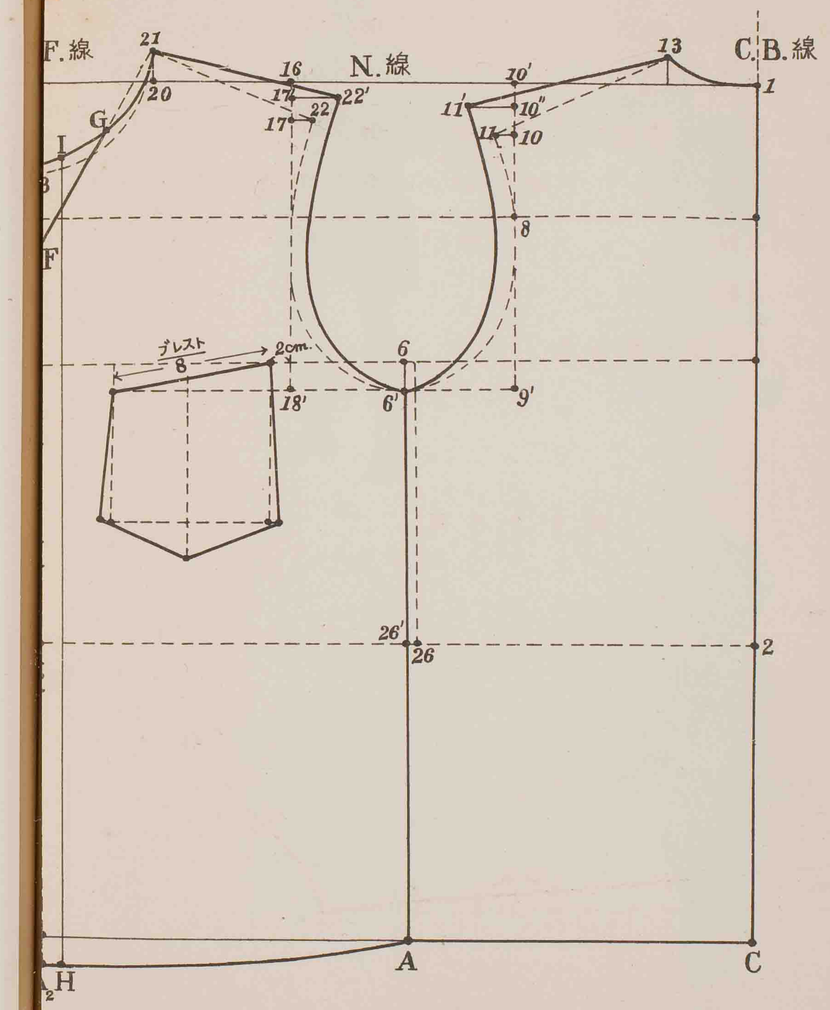
4, 8, 7, 1 に袖附線を畫く。

第七十九圖

スリーヴの製圖



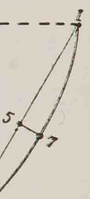
ホ　身頃の製圖



行。

の袖口。

によりて



第七十七圖

ブラウズ及びギャムプ

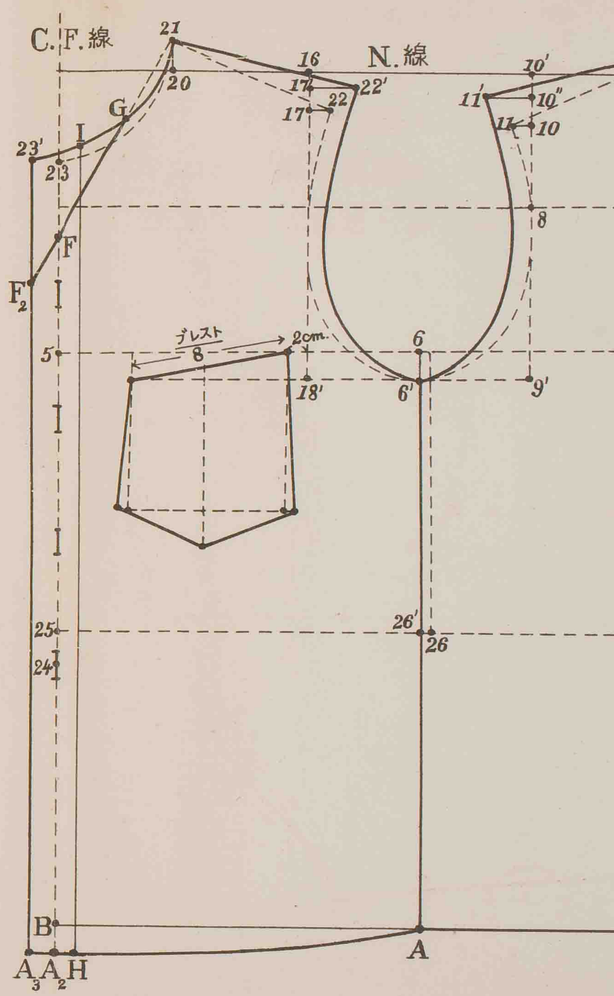
イ

ロ

ハ

ニ

本身頭の製圖



第七十七圖

ブラウズ及びギャムプ

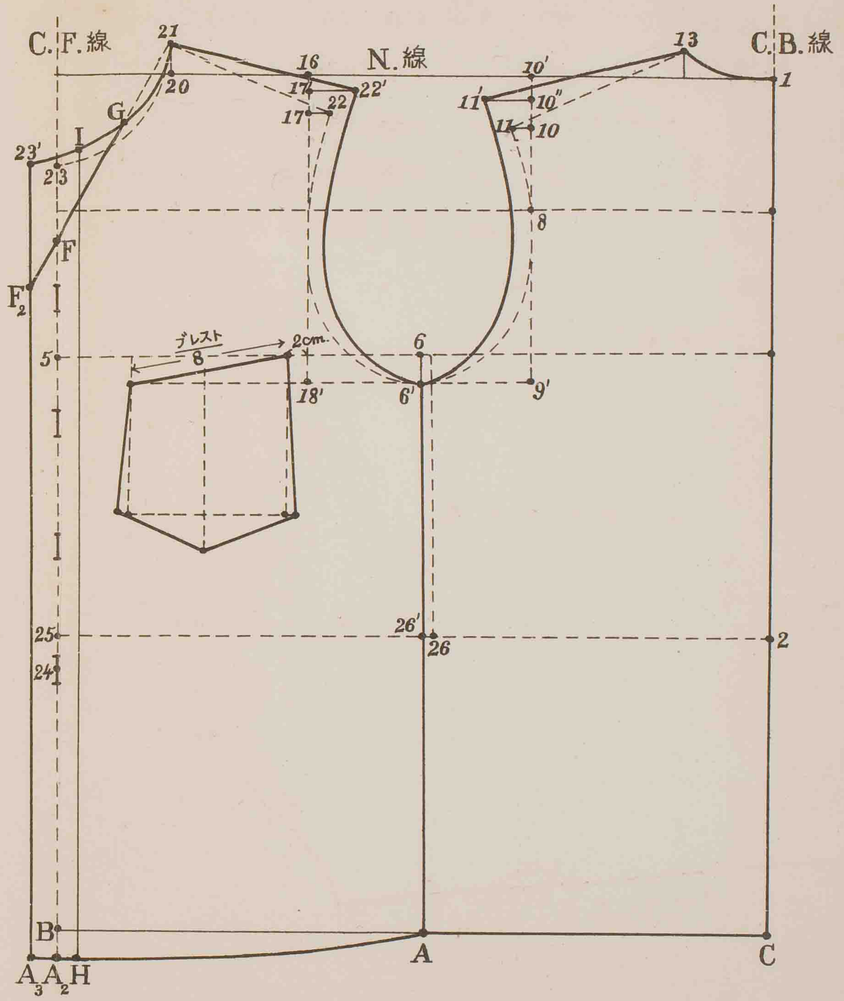
イ

ロ

ハ

ニ

ホ　身頃の製圖



第八　半ズボン　(第八十圖)

A　膝の下までのもの。

前

1　2＝胯上。割合なれば $\frac{ブレスト}{4}+\frac{ブレスト}{12}+2.5$ 糎。

3　2＝$\frac{ブレスト}{12}$。

4　2＝胯下。好みによる。割合なれば $\frac{ブレスト}{4}$。

5　＝2より1 4の線に出したる垂線上に定む。

5　2＝ウエイストとシートの寸法を比較してその大なる方を用ふ。幼兒はウエイストの方大なるが普通なり。故に $\frac{ウエスト}{4}+\frac{ウエスト}{16}$ にとる。シートの方大なる場合には $\frac{シート}{4}+\frac{シート}{16}$。

6　5＝$\frac{ブレスト}{16}$。

7　1＝6 2。且,平行。

8　6＝$\frac{ブレスト}{8}$ 5, 8を點線にて結び中央にて2糎程内に丸味を付けて刳る。

9　4＝6 2。且,平行。

10　9＝$\frac{ブレスト}{32}$。5, 10を點線にて結び,中央にて0.4糎内方に刳る。

11　7＝$\frac{ウエイスト}{4}$。但しブレスト,ウエイスト,シートの寸法が等しき場合には1と一致して殘りを生ぜず。

12　4＝$\frac{ブレスト}{24}$。2, 12を點線にて結び中央にて0.4糎外方に刳る。

13　3＝1.3糎。ポケットの下口。脇明ヅボンの場合には

脇明の標となる。

14　13 = $\frac{ブレスト}{6}$ + 0.7 糎。3 11の線曲上に取る。ポケット口。脇明ヅボンの時には不用。

A　5 = 2 糎。前の刳の曲線上に取る。

後

15　= 7 11の中央。

16　= 15より1 7線に出したる垂線と2 6線との交點。

17　15 = $\frac{ブレスト}{16}$。16 15の延長線上に取る。17と8, 5の前の刳の最も深き所とを結び付く。

18　5 = $\frac{ブレスト}{64}$。17より18の0.3糎下りたる所までに後の胯上を刳る。17より前の刳の最も深き所までは殆ど斜線。

19　10 = 2 糎。18, 19を點線にて結び,中央にて0.4糎内方に刳る。

20　12 = 2 糎。12, 2, 3, 11の前脇の曲線を度りてこれを半徑とし,20を中心にして弧を畫く。

21　17 = $\frac{ウエィスト}{4}$ + 1.4糎 + 4糎に弧に觸れる樣に度る。21,20を假線にて結び,少しく内方に丸味を付ける。

22　21 = $\frac{ブレスト}{6}$。15, 22を結ぶ。

23　22 = 10糎。

24　22 = 1.4糎。23, 24を結ぶ。22, 24の間は卽ちダートとなる。

25　= 10 12の中央,卽ち前裾幅の中央。25, 17を鎖線にて結ぶ。裁斷の時に布の經絲を合せる線。

21　14′ = 11 14。

14′　13′ = 14 13。

形紙の裁ち方は18, 19, 25, 20, 21, 22, 24, 17, 18の形とダートの線,17 25の線とを別紙に寫し置きてより前を切る。

見返　(ロ圖)

7,′ 8,′ A_2, 5は前の7, 8, A, 5を寫す。

A_3　A_2 = 1 糎。

B　A_3 = 1.5糎。

C　7′
D　8′　} = 3.5糎。C,D,Bに終る曲線をひく。

持出　(ハ圖)

見返を寫しE C_2を0.7糎に度り,B_2點に終る曲線を畫き,Eの角を1.5糎程宛圓く切る。但し見返しの型紙のままを用ひC_2B_2の間に縫代を加へずに裁ちてもよし。

B　膝上までの半ズボン。

胯下を割合によるなれば2より$\frac{ブレスト}{6}$位に切るのみにて膝下までの物と同樣。卽ち圖の鎖線は膝上までの胯下の位置。

第九　キモノスリーヴドレッス（第八十一圖）

I　肩に縫目のなきもの。

2　1 ＝ $\frac{バスト}{4}$ ＋1.3糎。

1′　1 ＝ 1 糎。

3　1′＝ドレッス丈。

4　2 ＝ $\frac{バスト}{4}$ ＋7.5糎。

5　1＝好みの裄。凡そ $\frac{バスト}{2}$ 内外。

6　5 ＝ $\frac{バスト}{4}$ ＋1.3 糎。

7　4＝3 2。且,平行。

8　7 ＝ $\frac{バスト}{12}$。4, 8 を結びてその線の中央部にて0.4糎外方に丸味を付けて脇線とす。4 の角を2.5糎宛圓くす。

9　1 ＝ $\frac{ネック}{6}$ ＋1.3 糎。1′より 9 に後衿肩を畫く。

10　1 ＝ $\frac{ネック}{6}$。

10′　10 ＝ 2 糎。10′より 9 に前衿肩を畫く。

11　1′＝脊丈。

12　10 ＝前丈。

3′　3＝12 11 −(スカート後丈−スカート前丈)。

13　11 ＝ $\frac{バスト}{24}$。脊明の止り。

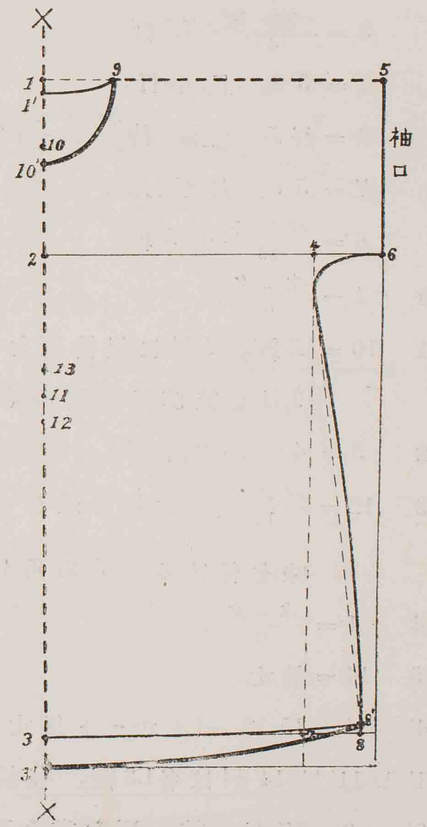
8′　8＝後の中央線と脇線とを合せて折り,3,卽ちドレッス丈の觸れたる所に定む。

3　8′(後裾), 3′ 8′(前裾)の曲線を畫く。

イ

ロ

第八十一圖
ハ　製　圖



Ⅱ　肩に縫目あるもの。(第八十二圖)

1　2＝脊丈。

3　1＝$\frac{1\ 2}{2}$＋5糎。

4　1＝ドレッス丈。

5　3＝$\frac{バスト}{4}$＋7.5糎。

6　1＝5 3。且,平行。

7　1＝好みの裄。約$\frac{バスト}{2}$内外。

8　7＝5 6。且,平行。

9　6＝$\frac{バスト}{16}$＋0.7糎。

10　1＝$\frac{ネック}{6}$。

11　10＝1.3糎。1,11に後衿肩を畫く。

9,11を結びて後肩の線をひく。

12　5＝4 3。且,平行。

13　12＝$\frac{バスト}{12}$。5,13を結び中央部にて0.4糎外方に丸味を付ける。5の角を2.5糎宛圓く刳る。

14　1＝$\frac{ネック}{6}$。

15　14＝前丈。

4′　4＝15 2－(スカート後丈－スカート前丈)。

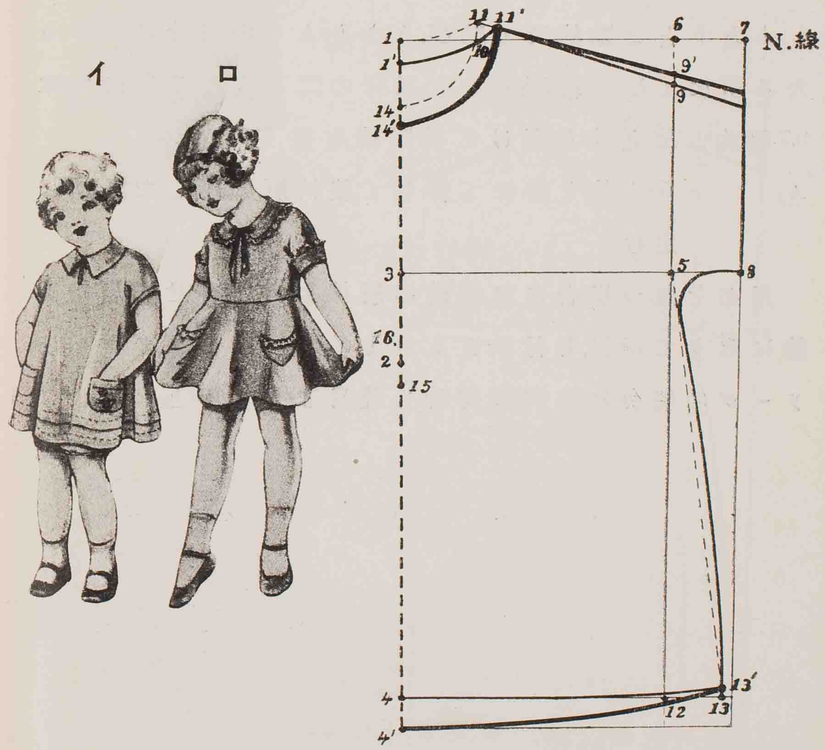
1′ 1, 11′11, 14′14は各1.3糎。後前共に衿肩を畫き直す。

9′　9＝0.7糎。前の肩を畫き直す。

4　13＝後裾。　4′　13′＝前裾。

第八十二圖

肩に縫目あるキモノスリーヴ



第十　ラグランスリーヴドレッス（第八十三圖）

肩に縫目を付けざるキモノスリーヴ,或は肩に縫目を付けたるキモノスリーヴの何れかを寫して以下を書き加ふ。圖は肩に縫目あるキモノスーリヴを寫したるものなり。

A　11′＝1.5糎乃至2糎。

Aと5とを點線にて結び,AよりA5の三分の一下りたる所にては0.7糎程外方に,三分の二下りたる所にては0.7糎內方に丸味を付けて袖附線を畫く。

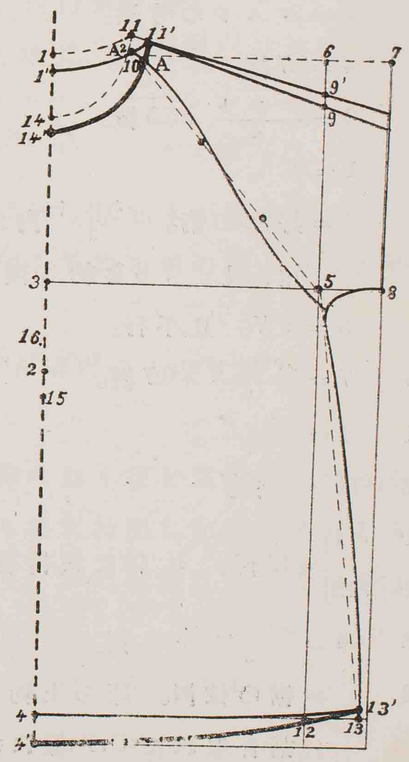
A_2　＝5A線を勢にて伸して,後衿肩に接したる所に定む。

用布を裁つ場合には,後前の肩線を突き合せて肩山を輪に取りて縫目を付けざる方よろし。卽ちラグランスリーヴの場合には肩は何時も縫目なきものとなる。

イ　出來上り圖

第八十三圖
ラグランスリーヴドレッス

ロ　製圖



第十一　ロムパース（第八十四圖。138頁の次に挿入）

第八十四圖(イ)(ロ)の出來上り圖の如く,襁褓を用ふる時代に適當なる形。

I　キモノスリーヴ。(寫眞版のE)

1　2＝脊丈。

3　1＝$\frac{1\ 2}{2}$＋5糎。

4　1＝バストの寸法。

5　4＝0.7糎。

6　3＝$\frac{バスト}{4}$＋5.5糎。

7　1＝6 3。

8　1＝好みの裄。$\frac{バスト}{2}$内外。この圖は$\frac{バスト}{2}$より短かし。7 8を約3糎にとりしもの。

9　8＝6 7。且,平行。

10　7＝$\frac{バスト}{16}$＋0.7糎。

11　1＝$\frac{ネック}{6}$。

12　11＝1糎。

1′　12′　1 12 ＝1.3糎。1′, 12′に後衿肩を畫く。

13　4＝$\frac{バスト}{2}$＋2糎。

14　＝裾の位置。膝の上約12糎。

割合なればC.B.線に垂直に2より出したる線より下に$\frac{バスト}{4}$＋1糎＋$\frac{バスト}{12}$位に定む。

斯して定まりたる14と6を結びたる線と2線と交り

たる所が2′の點。中央部にて脇線を0.4糎程外方に丸味を付ける。

15　5＝$\frac{バスト}{8}$。15,14を結ぶ。(後の裾)

4, 15に形を付ける。

4′　15′　4 15 ＝2糎。14,15′を結ぶ。(前の裾)。4′15′に形を付ける。

16　1＝$\frac{ネック}{6}$＋1.3糎。前衿肩を畫く。

10′　10＝0.7糎。12′,10′を結ぶ。前の肩。

17　17′　12′ 12′ ＝$\frac{バスト}{8}$。肩の明。

これ以上明ける時は,明止りが肩の端よりはづれて見苦し。即ち實際の肩の端より少し内まで明ける。

見返し(ニ圖)。後前とも同形のものを用ふ。

裾口バンド（ホ圖)。

出來上り圖のロは鎖線の如く後を三角形に切り,その部分を前に續けて裁ち,後に持出しを,前に見返しを作りて合せたるものなり。Yの位置は4 13の中央より1糎4の方に寄る。

赤線は前と後と異る所の前部を表はす。

Ⅱ　シャートスリーヴ。(寫眞版のD)

(第八十五圖。138頁の次に挿入)

1　2＝脊丈。

3　1＝$\frac{1\ 2}{2}$。

4　1＝$\frac{1\ 2}{4}$。

5　3＝$\frac{バスト}{4}$＋5.5糎。

6　5＝1.5糎。

7　4＝$\frac{脊幅}{2}$。割合なれば$\frac{バスト}{8}$＋$\frac{バスト}{12}$。

8　＝7よりC.線に垂直に出したる線とB.線との交點。

9　6＝8 5。且,平行。

10　7＝$\frac{4\ 7}{3}$。

11　10＝1糎。

10′　1＝4 7。

10″　＝10′10の中央。

12　1＝$\frac{ネック}{6}$。

13　12＝1糎。

1′ 13′　$\left.\begin{matrix}1\\13\end{matrix}\right\}$＝1.3糎。後衿肩を刳り直す。

11′　13′＝11 13′＋1.5糎乃至2糎。

11′,6に袖附線を刳る。

14　1＝バストの寸法。

15　14＝0.7糎。

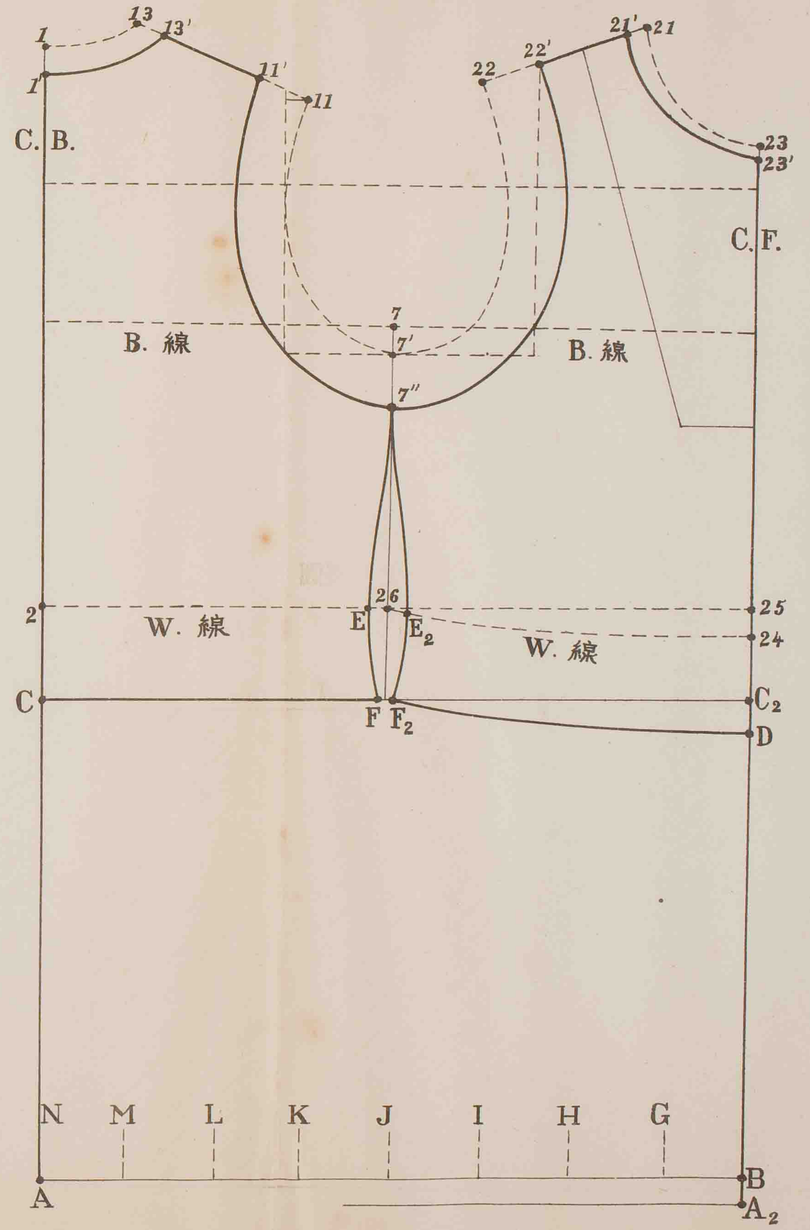
に挿入)

線との交

イ

出來上り圖

ロ　ウエィストの製圖



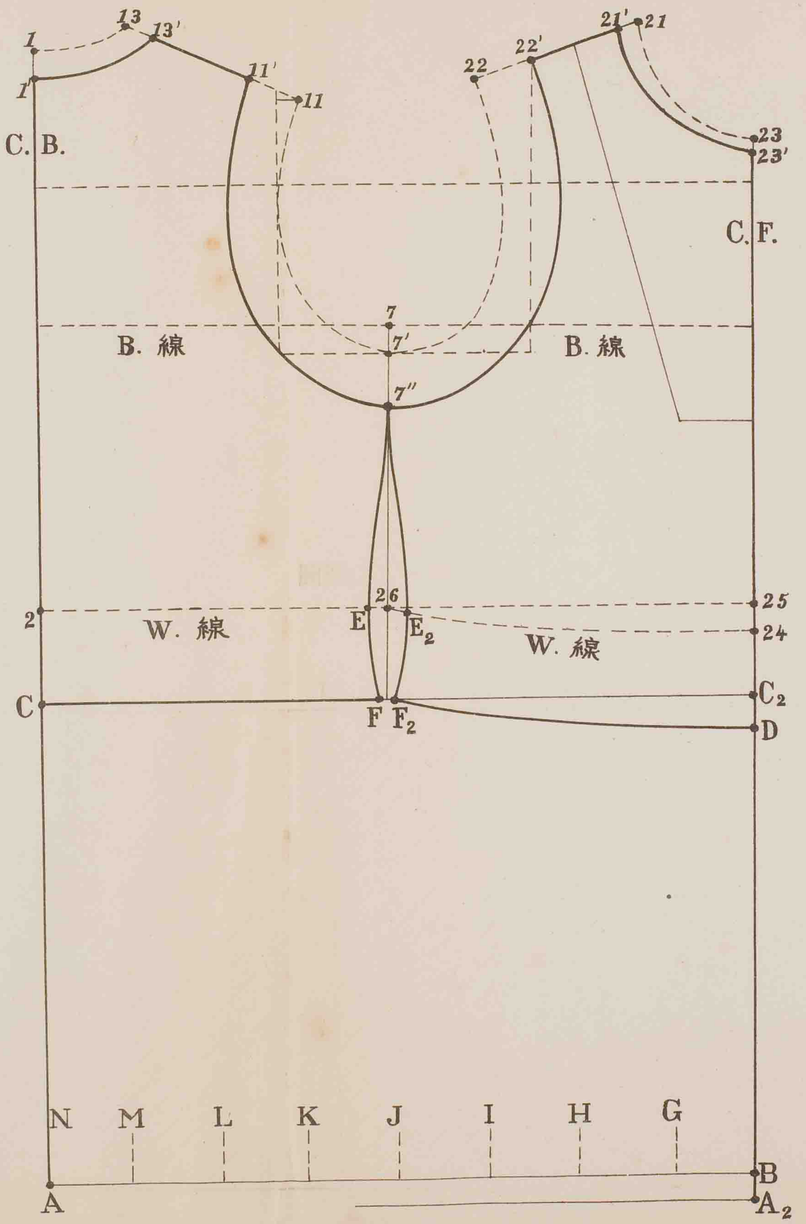
第七十六圖

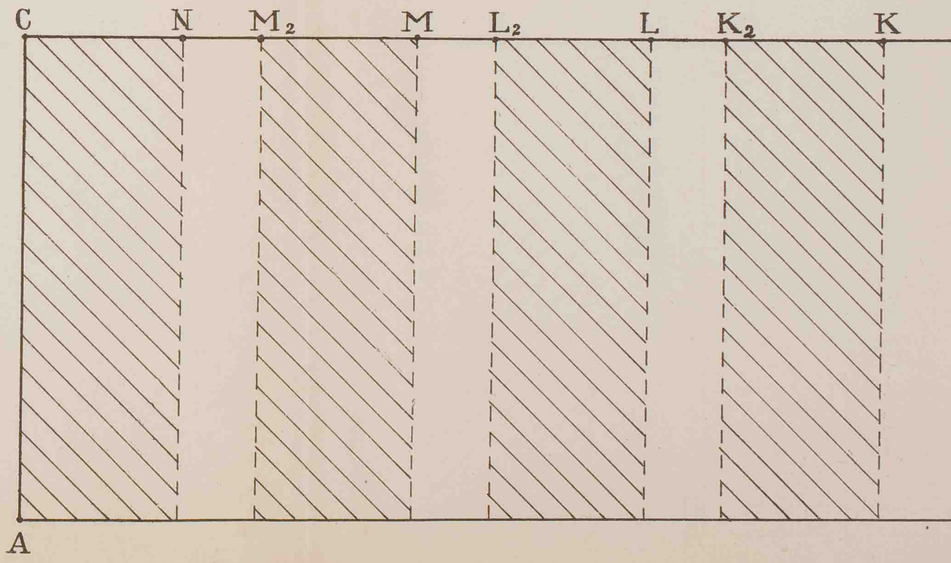
襞取りスカート

イ

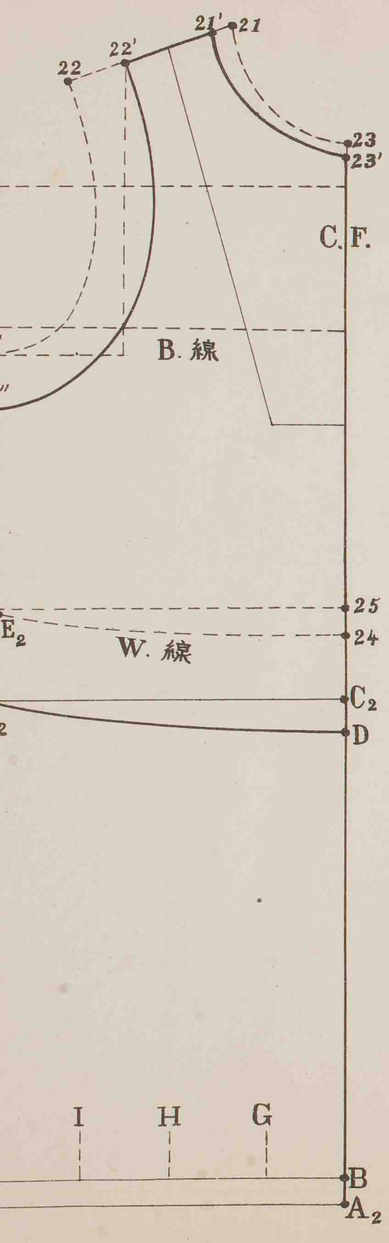
出來上り圖

ロ　ウエィストの製圖



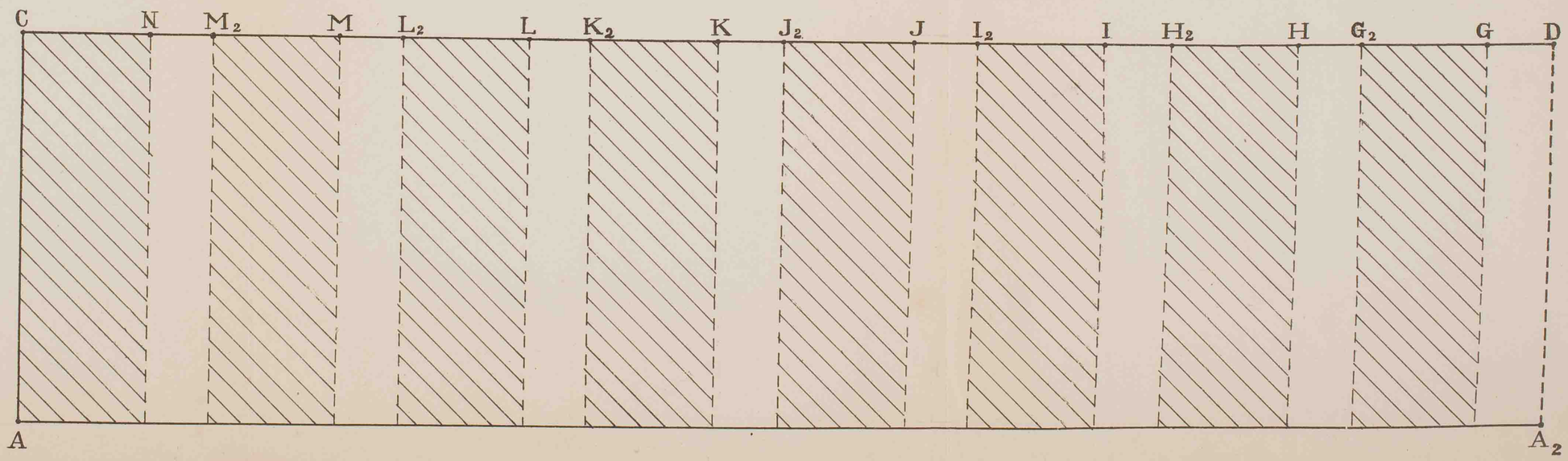


八



第七十六圖

襞取りスカート



16　14 = $\frac{バスト}{2}$ + 2糎。

17　= 裾の位置。第八十四圖に同じ。

6, 17を點線にて結び,中央部にて0.4糎外方に丸味を付ける。

18　15 = $\frac{バスト}{8}$。

14, 18の刳を畫く。18, 17を結ぶ。（後の裾）

15′ 14
18′ 18 } = 2糎。15′18′の刳を畫き18,′17を結ぶ。（前の裾）

19　1 = $\frac{ネック}{6}$ + 1.3糎。

11″　11′= 0.7糎。13′, 11″を結ぶ。（前の肩）

見返し裾口バンド等はIに同じ。

Ⅲ　脇明ロムバース（第八十六圖）。（寫眞版のF）

この形も亦襁褓を用ふる時代に適當なり。

ロムバース1，卽ち第八十四圖の5，15及び4′，15′を省きてその他の線，及び點を寫すか，又は同樣に製圖して以下の諸線を書き添ふ。

Y　4＝$\frac{バスト}{6}$。

14，Yを結ぶ。

4Y線より紙を折り，2線以下をトレイサーにて寫す2″は2の寫りたるものなり。脇の線は丸味を付けずに斜線のまゝを寫す。

A　2″＝2糎。

C　2＝8糎。

D　＝7　6線を延長して2　2′線より8糎下。

C，Dを結ぶ。卽ち後ウエイストの裾。

E　2′＝2糎。

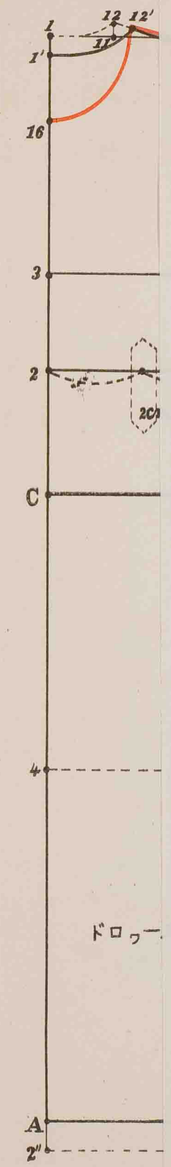
G　E
F　14　＝3.5糎。　14EGF14は前見返しの形。

H　14′
I　B　＝3.5糎。　14′HIB14′は後見返しの形。

1′12′10′9DC231′は後ウエイストの形。

帶（ハ圖）。後より前まで續きたるもの。

後の裏打（ニ圖）



Ⅲ　脇明ロムパース（第八十六圖）。（寫眞版のF）

この形も亦襁褓を用ふる時代に適當なり。

ロムパース1，卽ち第八十四圖の5，15及び4′，15′を省きてその他の線及び點を寫すか，又は同樣に製圖して以下の諸線を書き添ふ。

Y　4＝$\frac{バスト}{6}$。

14，Yを結ぶ。

4Y線より紙を折り，2線以下をトレィサーにて寫す2″は2の寫りたるものなり。脇の線は丸味を付けずに斜線のまゝを寫す。

A　2″＝2糎。

C　2＝8糎。

D　＝7　6線を延長して2　2′線より8糎下。

C，Dを結ぶ。卽ち後ウエィストの裾。

E　2′＝2糎。

G　E
F　14　＝3.5糎。14EGF14は前見返しの形。

H　14′
I　B　＝3.5糎。14′HIB14′は後見返しの形。

1′12′10′9DC231′は後ウエィストの形。

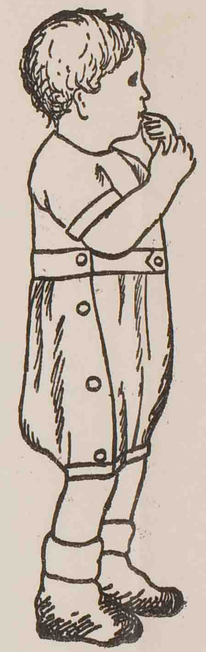
<u>袋</u>（ハ圖）。後より前まで續きたるもの。

<u>後の裏打</u>（ニ圖）

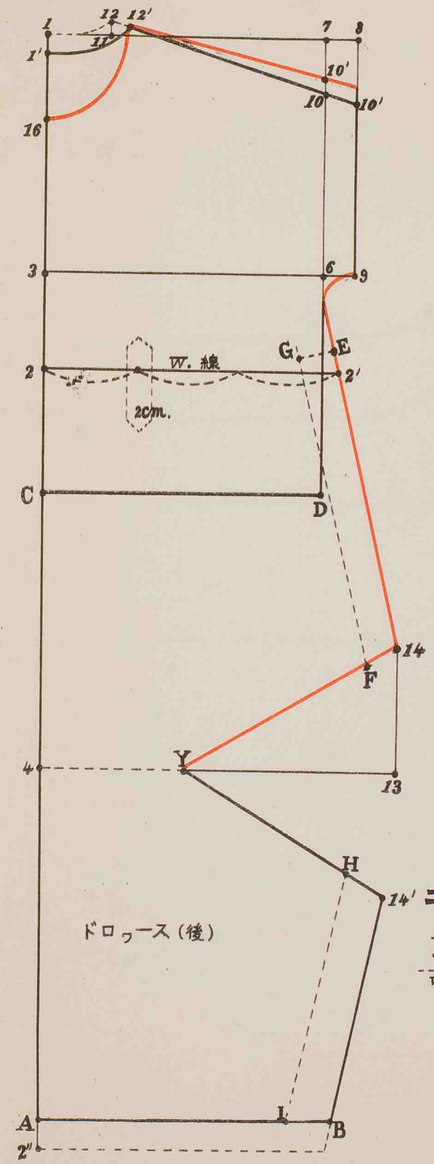
第八十六圖

脇明ロムパース

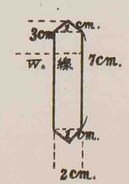
イ　出來上り圖



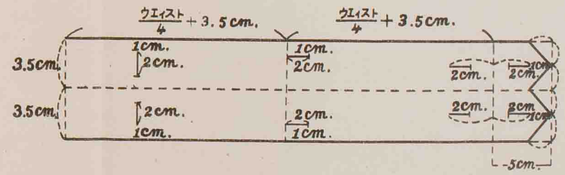
ロ　製圖



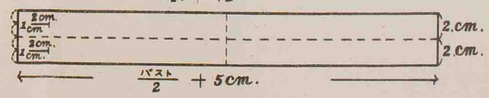
ニ　後の裏打



ハ　袋



ホ　裾ロバンド



Ⅲ

Y

は

線

A

C

D

E

G

F

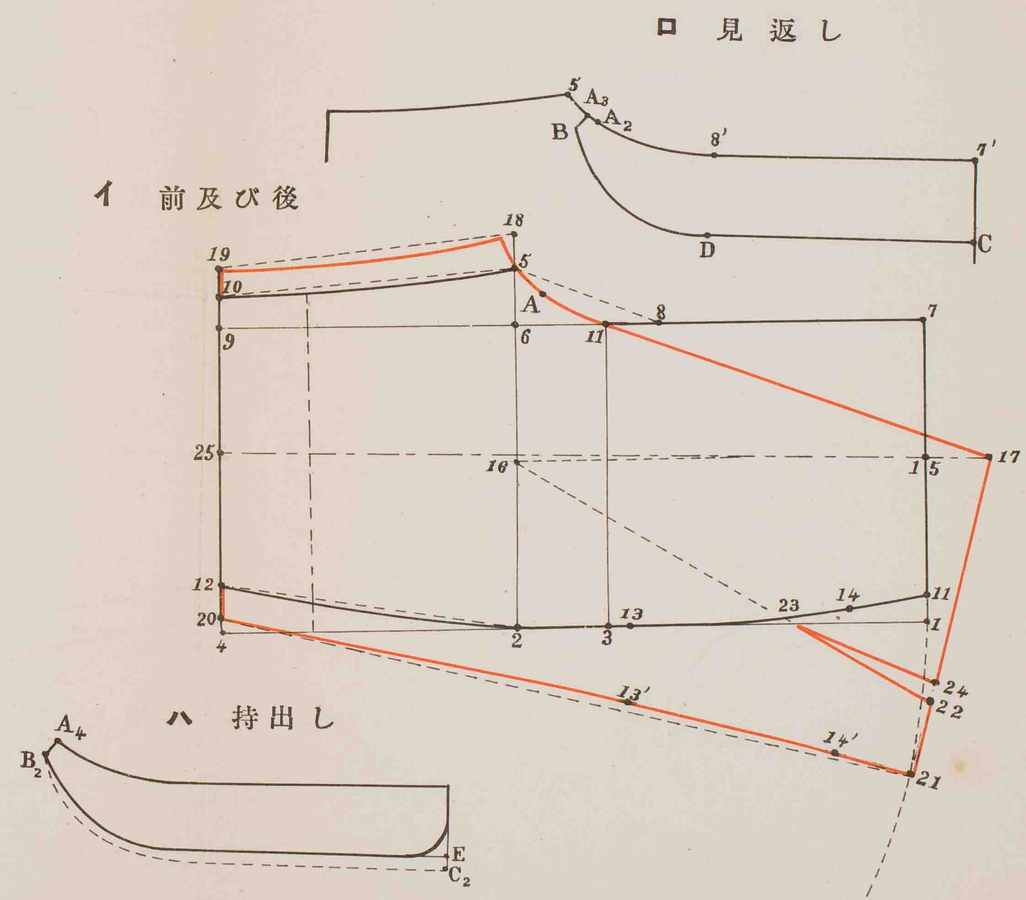
H

I

帶

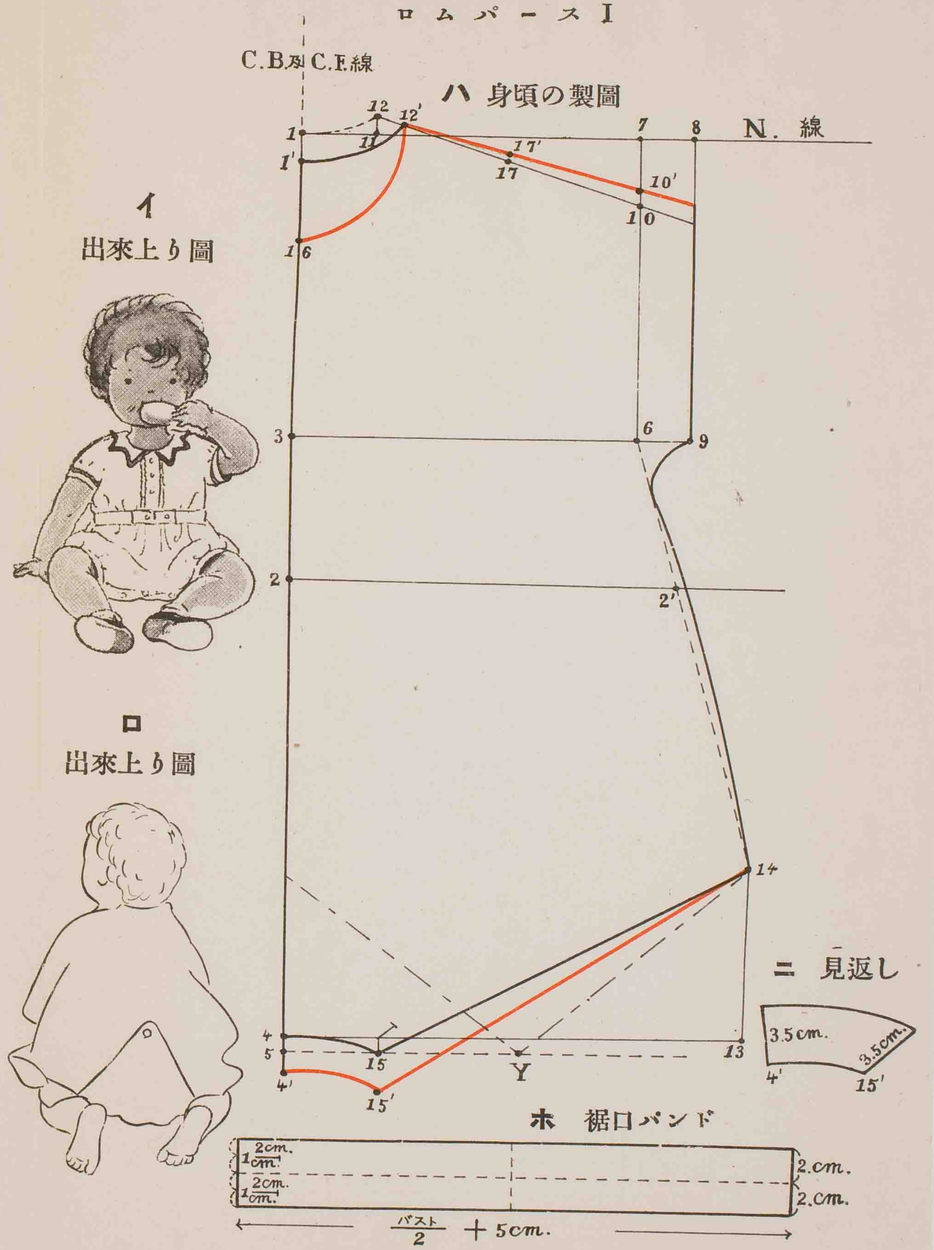
後

第八十圖
半ズボンの製圖



第八十四圖

ロムパースI

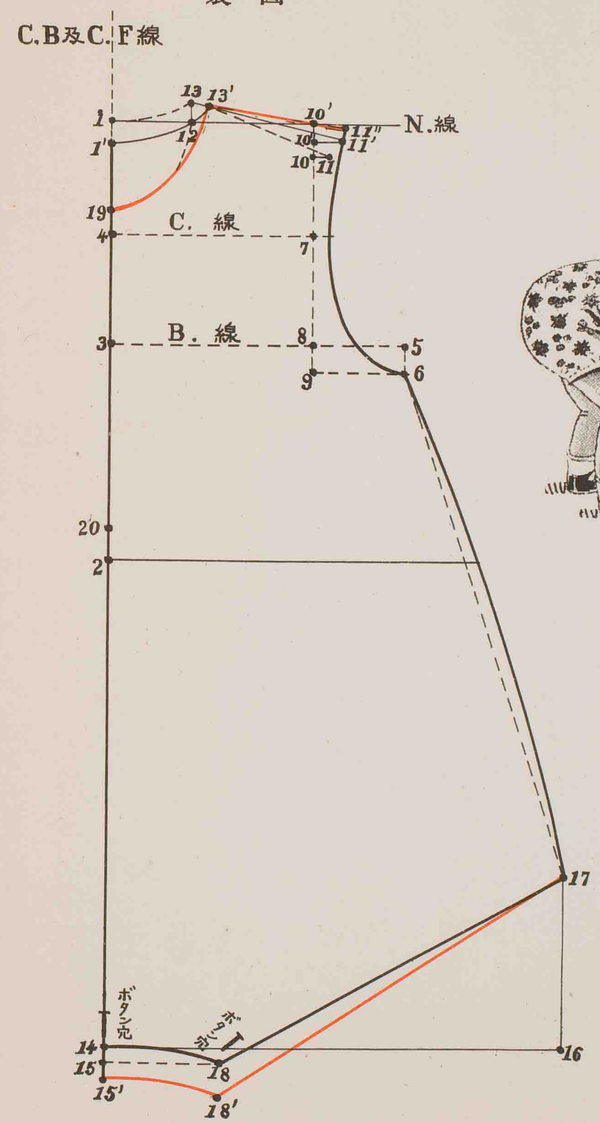


第八十五圖

ロムバース II

ロ

製圖



イ

出來上り圖

D　ウエイストとドロッースと離れたる形（寫眞版のG）

（第八十七圖。140頁の次に挿入）

この形は稍長じたる子供に適す。

ウエイスト（ロ圖）

原型を寫すか,又は原型と同様に製圖して以下の諸線を書き加ふ。

A　2 ｝
C　25｝＝10糎。

B　　＝7　26の延長線とAC線との交點。

D　C＝24　25。

1′　1 ｝
13′　13｝＝1.3糎。後衿肩を畫き直す。

21′　21＝1.3糎。

23′　23＝0.7糎。前衿肩を畫き直す。

ドロッース（ハ圖）

1　2＝胯上－1糎。割合なれば$\frac{バスト}{12}+\frac{バスト}{4}-1$糎。

1′　1＝$\frac{バスト}{8}$。

3　2＝$\frac{バスト}{6}$。

4　2＝$\frac{バスト}{2}+4$糎。

4′　4＝$\frac{バスト}{12}$。

5　＝4′より24線に垂直に出したる線と11′線との交點。

6　5＝$\frac{バスト}{16}$。

7　4＝6糎。4より24線に垂直に出したる線上にとる。

7, 5を結ぶ。即ち前の中央。

7, 6を結ぶ。即ち後の中央。

6, 1′を點線にて結び中央にて0.6糎外方に丸味を付ける。即ち後の上端。

5′　5＝0.7糎。57の延長線上にとり，1′5′の中央位より刳り上げる。即ち前の上端。

7′　＝74の延長線と3線との交點。

8　7′＝$\frac{バスト}{6}$。

9　3＝2糎。

10　＝12の中央。

10, 1′を恰好よく刳る。

帶(ニ圖)。後前同じ。

裾口バンド(ホ圖)。

後の裏打。第八十六圖(ニ)に同じ。但し前にも必要なり。

袖は普通のものを用ふ。

に垂直に出したる線上に

の中央。
の中央。
中央にて0.6糎外方に丸味
上端。
上にとり，1′ 5′の中央位よ
前の上端。
の交點。

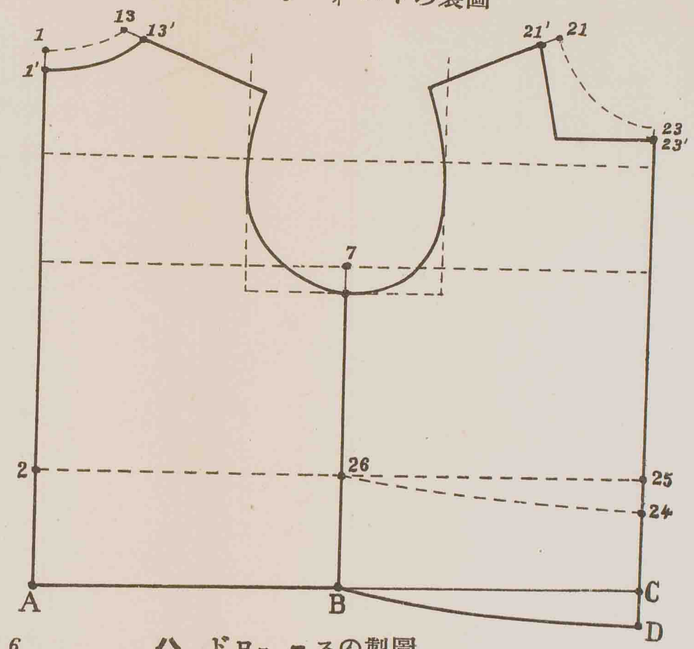
。

じ。但し前にも必要なり。

第八十七圖

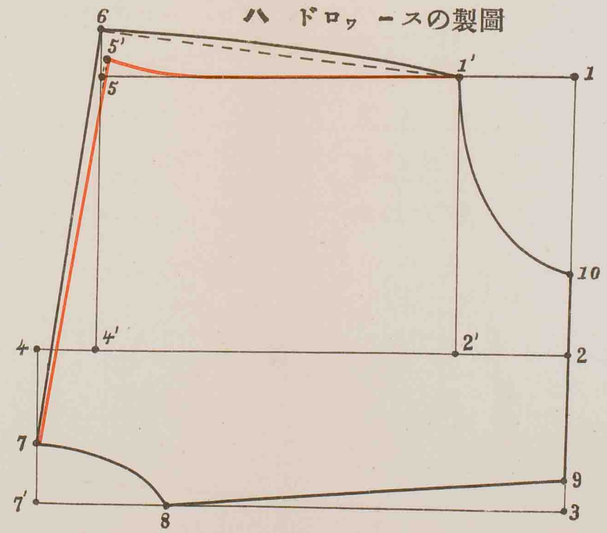
ロムパースⅣ

ロ　ウエイストの製圖

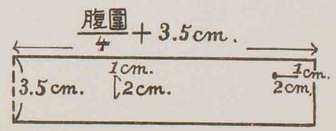


イ　出來上り圖

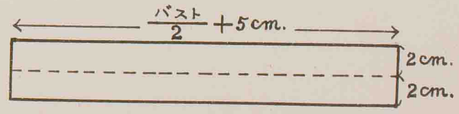
ハ　ドロッースの製圖



ニ　帶 後前同じ



ホ　裾口バンド



V　Ⅳの變形(第八十八圖。第八十九圖の次に挿入)

Ⅳの型紙を前は上下を續けて,後は上下別々にしてウエィストにてボタン留としたるものなり。バンドは前まで續けてベルトとするもよく,後の上部のみに付くるも可なり。

型紙の修正の仕方

前　ウエィストの型紙の24と,トロッースの型紙の5の點との間を2糎明けて置き,ウエィストの袖刳止りと,ドロッースの3と合せて脇に斜線を引きて脇を刳り直す。

此時若しドロッースの7が,ウエィストの前の中央線の延長と一致せざる時は,ドロッースの5の點を内に入れて7の點を合せる。

帶(ハ圖)。但し第八十六圖(ハ)の如く前まで續けてベルトとしてもよろし。

後の裏打。第八十六圖(ニ)に同じ。

裾口バンド。第八十七圖(ホ)に同じ。

Ⅵ　この形も亦稍長じたる子供に適す。(第八十九圖)

原型を寫すか,又は原型に同樣に製圖して,以下を書き加ふ。

ウエイストの後(ハ圖)

A　2＝8糎。

B　26＝13糎。ABを形よく畫く。

ドロッース(ニ圖)

Ⅳのドロッースと異る部分のみを記す。

4　2＝$\frac{バスト}{2}$。卽ち4糎加へず。

10　2＝$\frac{バスト}{12}$＋1糎。脇明の留にして脇線は直線のまゝとしⅣの如く刳らず。

前(ロ圖)ウエイストとドロッースと續ける。

ドロッースの前,卽ち1,5,7,8,9,1を別紙に寫して切り,15線をウエイストの24 26′線より2糎離して置き,ウエイストの7″とドロッースの9とを合せて斜線をひき,圖の如く少し恰好を付けて書き直す。

帶,裾口バンド,後の裏打等は前記のものと同樣。

備考

Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵの形は,何れもドロッースの上端を3糎切り去りて,胯上を淺くし,裏打切も順に3糎下げて,ウエイスト線を低く作る時は一層愛らしきものとなる。

イ

出來上り

Ⅵ　この形も亦稍長じたる子供に適す。(第八十九圖)

原型を寫すか,又は原型に同様に製圖して,以下を書き加ふ。

ウエイストの後(ハ圖)

A　2＝8糎。

B　26＝13糎。ABを形よく畫く。

ドロッース(ニ圖)

Ⅳのドロッースと異る部分のみを記す。

4　2＝$\frac{バスト}{2}$。即ち4糎加へず。

10　2＝$\frac{バスト}{12}$＋1糎。脇明の留にして脇線は直線のまゝとしⅣの如く刳らず。

前(ロ圖)ウエイストとドロッースと續ける。

ドロッースの前,即ち1,5,7,8,9,1を別紙に寫して切り,15線をウエイストの24 26′線より2糎離して置き,ウエイストの7″とドロッースの9とを合せて斜線をひき,圖の如く少し恰好を付けて書き直す。

帶,裾口バンド,後の裏打等は前記のものと同様。

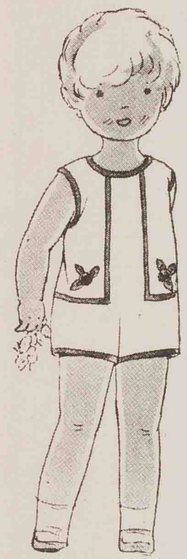
備考

Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵの形は,何れもドロッースの上端を3糎切り去りて,胯上を淺くし,裏打切も順に3糎下げて,ウエイスト線を低く作る時は一層愛らしきものとなる。

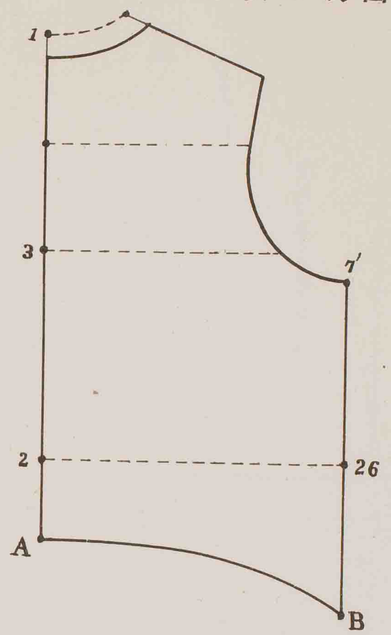
第八十九圖

ロムパースⅥ

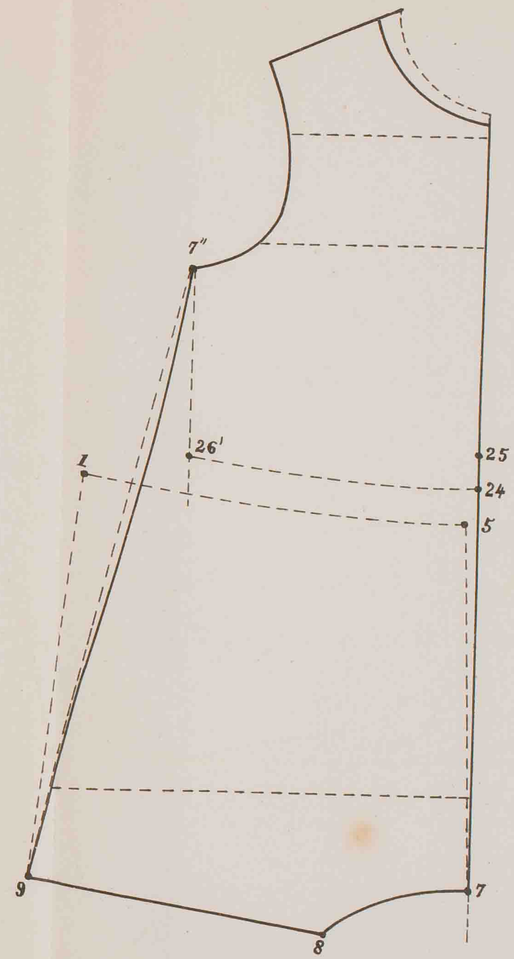
イ　出來上り圖



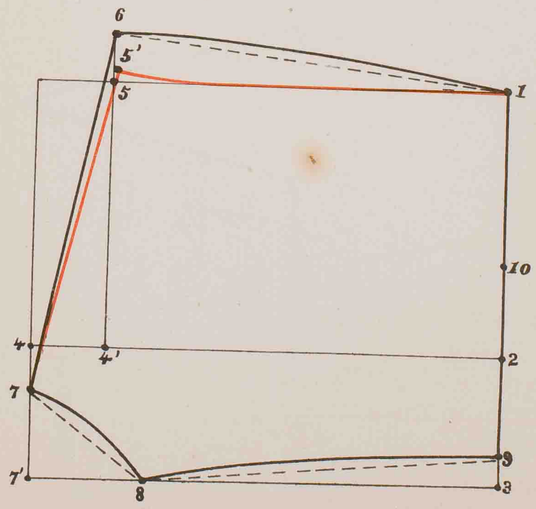
ハ　後身頃の製圖



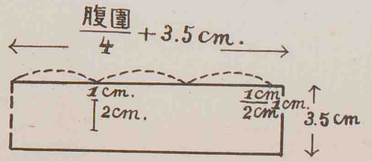
ニ　前身頃の製圖



ロ　ドロッースの製圖



ホ　バンドの製圖



V
度
加え
ウ
A
B
ト
IV
4
10

前

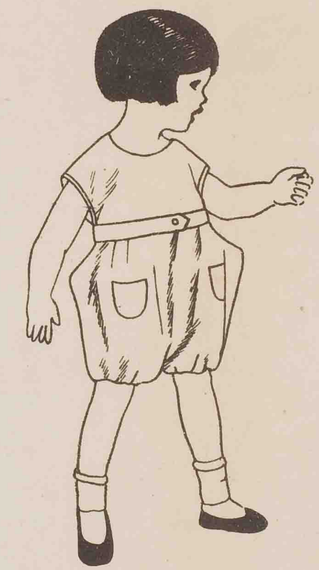
り，1
ィスト
く少
帯，

備考

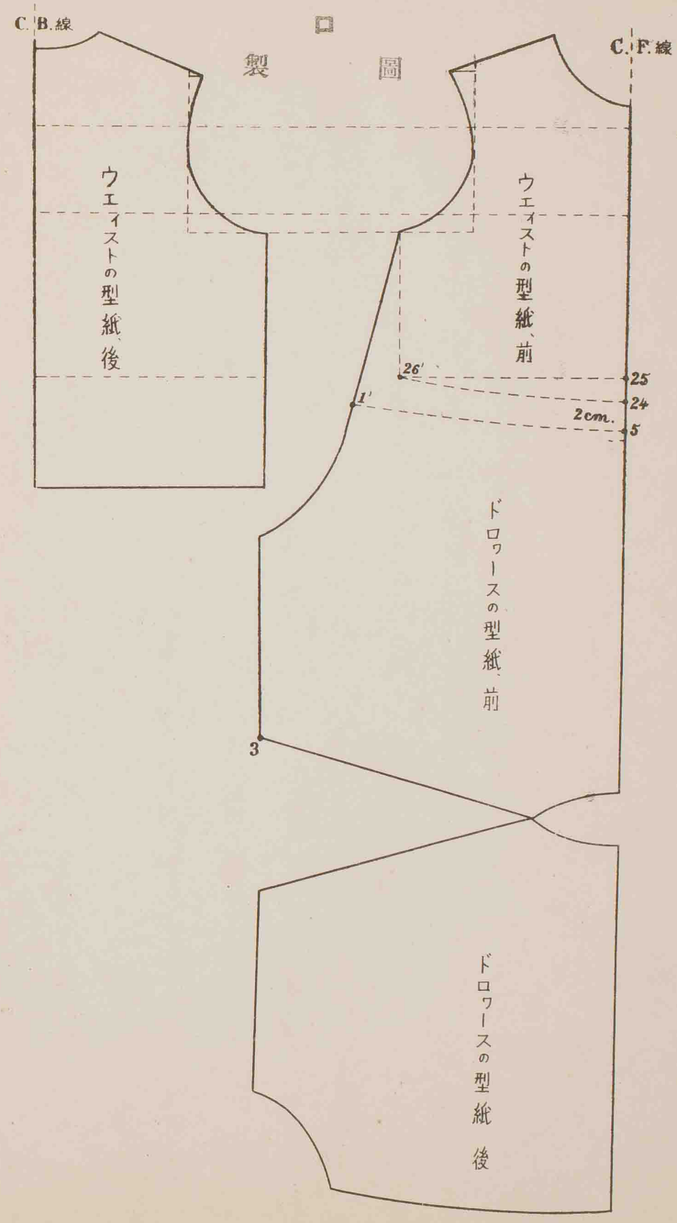
Ⅲ,Ⅳ，
し，裏打
ものと

第八十八圖

ロムパース



イ 出來上り圖



Ⅶ　男兒用に限る形。(第九十圖。146頁の次に挿入)

半ズボンの製圖(ロ圖)

前

1　2 $=\frac{\text{ブレスト}}{4}+2.5$ 糎。

3　2 $=\frac{\text{ブレスト}}{12}$。

採寸による場合には1より3までを胯上の寸法に2.5糎加へる。

4　3 $=\frac{\text{ブレスト}}{6}$。

5　3 $=\frac{\text{シート}}{4}+\frac{\text{シート}}{8}$。

6　5 $=\frac{\text{ブレスト}}{12}$。

7　＝6よりシートの線に垂直に出したる線と1より脇線に垂直に出したる線との交點。

8　6 $=\frac{\text{ブレスト}}{8}$。5, 8を結び中央にて2糎刳る。

10　9 $=\frac{\text{ブレスト}}{32}$。10, 5を結び中央にて0·4糎程內方に刳る。

後

15　＝1 7の中央。

16　＝15より7 1線に垂直に出したる線とシート線との交點。

17　15 $=\frac{\text{ブレスト}}{16}$。

18　5 $=\frac{\text{ブレスト}}{32}$。

前の刳の最も深き所,卽ち5 8の中央部と,17とを結び,此所より18の少しく下まで刳る。

19　10＝2糎。18, 19を點線にて結び,中央にて0.4糎刳る。

21　4＝前脇の4 1を半徑とし,4を中心として弧を畫き,弧に接する樣に17より $\frac{ウエイスト}{4}$ ＋2.5糎＋1.4糎に定む。

22　21＝$\frac{ブレスト}{8}$。22, 16を結ぶ。

23　22＝10糎。

24　22＝1.4糎。23, 24を結ぶ。

ウエイストの製圖(ハ圖)

大體に於て原型に同じなるを以て相違せる點のみを書き加ふ。

20　＝16 19の中央。

20′　20＝$\frac{バスト}{64}$。

21　20′＝1.3糎。

Y　21＝1.5糎。

X　＝B.線とC.F.線との交點。

Y,Xを結ぶ。衿の折目の線。

23′　23＝2.5糎。衿の付終り。

以上が原型と異る點にして卽ち前衿肩大きくなる。

尙ウエイストの後に左の諸線を加ふ。

A　2＝8糎。

B　＝ズボンの13。

A,Bを形よく結ぶ。

ウエイストの前と半ズボンの前の繼ぎ方

ウエイストの25 26線と半ズボンの7 1線とを1.5糎重ねて合せる。若しその幅が合はざる時は,ウエイストの幅に合せて,半ズボンの方の幅を修正す。

衿　(ニ圖)

1　2＝1 13＋21 23′。卽ち後衿肩と前衿肩の寸法の和。

3　2＝4糎。

4　3＝1 2に平行。

5　2＝1.5糎。1 2の中央より刳り上げる。

第十二　下着類

I　下着のウエィスト。(第九十一圖)

3 5を$\frac{バスト}{2}$＋6.5糎に,即ち原型よりも1糎少なく取り他は原型と同様に製圖をなしたる後,以下を書き加ふ。

A　2＝8糎乃至10糎。

A B C＝2 26 24に平行。

$\left.\begin{matrix}1' & 1\\ 13' & 13\\ 21' & 21\\ 23' & 23\end{matrix}\right\}$＝2.5糎。衿刳を直す。2 3′はもつと下げることもあり。

$\left.\begin{matrix}11' & 11\\ 22' & 22\\ 7'' & 7'\end{matrix}\right\}$＝2糎。小さきものは1糎。袖刳を刳り直す。

<u>見返しの擴げ方</u>

鎖線＝後の中央。即ち原型のC.B.線。

C.B.線より1糎＝左右の重なりの二分の一。

重なりの折目より2.5糎＝見返し幅。

用布の都合によりては1糎と2.5糎との境より裁ち離し,身頃の方にも見返しの左右にも各0.5糎の縫代を加へて裁ちてもよろし。

第十二　下着類

I　下着のウエィスト。(第九十一圖)

3 5を$\frac{バスト}{2}$＋6.5糎に,即ち原型よりも1糎少なく取り他は原型と同様に製圖をなしたる後,以下を書き加ふ。

A　2＝8糎乃至10糎。

A B C＝2 26 24に平行。

1′ 13′ 1 13 21′ 23′ 21 23＝2.5糎。衿刳を直す。2 3′はもつと下げることもあり。

11′ 22′ 7″ 11 22 7′＝2糎。小さきものは1糎。袖刳を刳り直す。

見返しの擴げ方

鎖線＝後の中央。即ち原型のC.B.線。

C.B.線より1糎＝左右の重なりの二分の一。

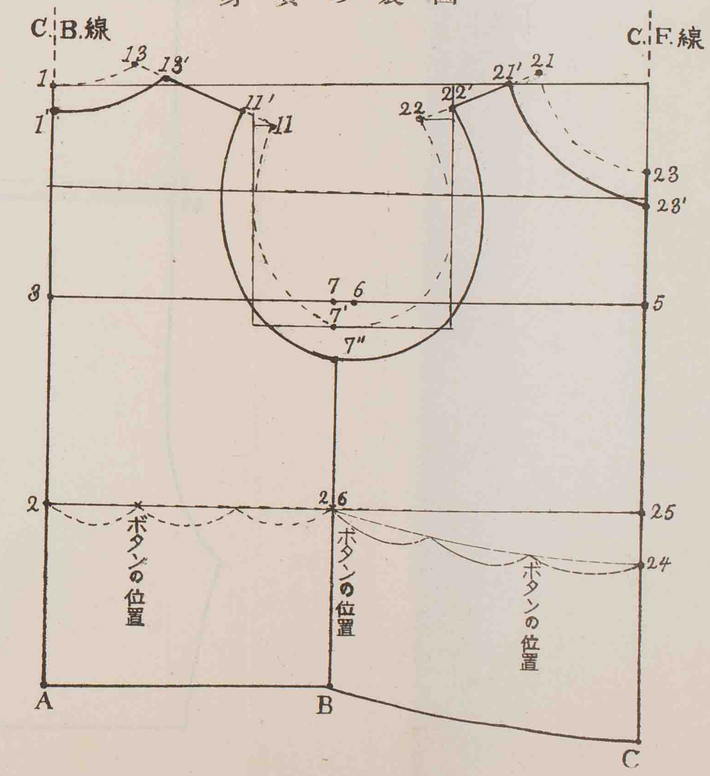
重なりの折目より2.5糎＝見返し幅。

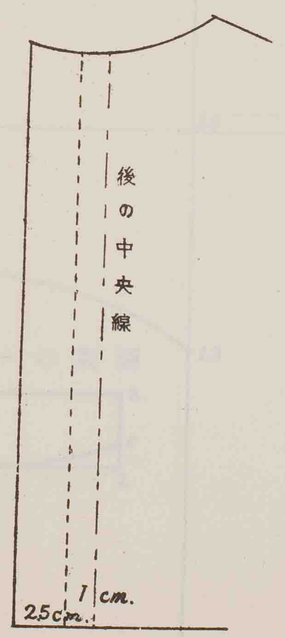
用布の都合によりては1糎と2.5糎との境より裁ち離し,身頃の方にも見返しの左右にも各0.5糎の縫代を加へて裁ちてもよろし。

第九十一圖
下着のウエィスト

ハ

身頃の製圖



ニ

見返し